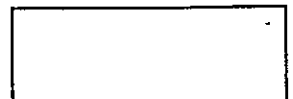


平成 30 年度島根大学大学院
教育学研究科入試問題（Ⅱ期）
《教育実践開発専攻（専門職学位課程）》
専門科目

注 意

- 1 問題紙は、指示があるまで開いてはならない。
- 2 問題紙 2 枚，解答用紙 2 枚，下書き用紙 1 枚である。
指示があつてから確認し，解答用紙と下書き用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 解答は，解答用紙に清書すること。
- 4 問題用紙は，持ち帰ること。



《教育実践開発専攻》

専門科目 問題紙 1

1. 以下の (1) から (6) の文章の (ア) ~ (シ) に当てはまる語句を答えなさい。

- (1) 国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、(ア)に、(イ)において学習することができ、その成果を適切に生かすことができる社会の実現が図られなければならない。(教育基本法第3条)
- (2) これまで教員として不易とされてきた資質能力に加え、自律的に学ぶ姿勢をもち、時代の変化や自らの(ウ)に応じて求められる資質能力を生涯にわたって高めていくことのできる力や、情報を適切に収集し、選択し活用する能力や知識を有機的に結びつけ(エ)する力などが必要である。(中央教育審議会答申「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について～学び合い、高め合う教員養成コミュニティの構築に向けて～」平成27年12月)
- (3) 中央教育審議会答申「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について」(平成27年12月)では、「チームとしての学校」像として、「校長のリーダーシップの下、カリキュラム、日々の教育活動、学校の資源が一体的に(オ)され、教職員や学校内の多様な人材が、それぞれの(カ)を生かして能力を発揮し、子供たちに必要な資質・能力を確実に身に付けさせることができる学校」としている。
- (4) 平成29年度版小学校学習指導要領の「第1章 総則」の道德教育に関する記述では、「道德教育や(キ)、多様な表現や鑑賞の活動等を通して、豊かな心や創造性の涵養を目指した教育の充実に努める」こと、「学校における道德教育は、(ク)である道德(以下「道德科」という)を要として学校の教育活動全体を通じて行うものであり、道德科はもとより、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動のそれぞれの特質に応じて、児童の発達段階を考慮して、適切な指導を行う」こと、とある。
- (5) ドイツの心理学者エビングハウスは、時間の経過とともに学習内容が失われていく様相を(ケ)によりグラフに示したが、条件によっては、学習直後より一定時間が経ってからのほうが、成績がよくなる現象が現れることがあり、これを(コ)という。
- (6) 青年は、多かれ少なかれ同一性の混乱を経て、「自分らしい自分」つまり同一性を確立していくのであるが、現代社会では、そのために長い期間を必要とし、その間しばしば大人としての義務や責任を果たすことを免除された状態にある。これを(サ)は(シ)と呼んだ。

《教育実践開発専攻》

専門科目 問題紙 2

2. 以下の（ア）～（エ）について、いずれかの語句を一つ選び、簡潔に説明しなさい。
なお、選んだ語句を解答用紙に記入しなさい。

（ア）

- (1) 「社会に開かれた教育課程」
- (2) インクルーシブ教育システム

（イ）

- (1) パフォーマンス課題
- (2) 真正の評価

（ウ）

- (1) 発達段階
- (2) 発達課題

（エ）

- (1) オープンエンドアプローチ
- (2) ヒドウン・カリキュラム

3. 以下の問いに答えなさい。

- (1) 政府が平成 25 年 6 月に閣議決定した「第 2 期教育振興基本計画」において挙げられていた、「コミュニティ・スクールを公立小・中学校の 1 割（約 3,000 校）に拡大する」という成果目標が、平成 29 年に達成された。この「コミュニティ・スクール」について、次の 2 つの語句を用いて説明しなさい。

（ 学校運営協議会 ・ 地域とともにある学校 ）

- (2) 文部科学省が平成 24 年に実施した「通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な支援を必要とする児童生徒に関する調査」において、学習障害（LD）、注意欠陥多動性障害（ADHD）、高機能自閉症等、学習や生活の面で特別な教育的支援を必要とする児童生徒数が、通常の学級に約 6.5%の割合で在籍している可能性があることを報告している。このことを踏まえて、通常の学級に在籍する、特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対して、どのような教育的支援を行うことができるか、児童生徒の状況を設定した上で、具体的な取り組みについて述べなさい。